



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 フランスベッドホールディングス株式会社
 コード番号 7840 URL <https://www.francebed-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 池田 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理グループ担当 (氏名) 島田 勉 TEL 03-6741-5501
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,150	△9.9	377	△6.5	529	37.9	269	10.1
2020年3月期第1四半期	12,386	△0.9	403	△30.9	383	△32.6	244	△41.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 214百万円 (121.1%) 2020年3月期第1四半期 97百万円 (△62.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.95	—
2020年3月期第1四半期	6.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	59,855	37,130	62.0	957.65
2020年3月期	59,798	37,481	62.6	966.70

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 37,130百万円 2020年3月期 37,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△4.6	2,500	0.3	2,600	6.7	1,600	5.2	41.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日（2020年7月31日）公表いたしました「2021年3月期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名）株式会社翼、除外 1社 （社名）

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	41,397,500株	2020年3月期	41,397,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,625,530株	2020年3月期	2,625,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	38,771,970株	2020年3月期1Q	39,220,904株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下「当期」という。)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞するなか、景気が急速に悪化し、極めて厳しい状況で推移いたしました。5月25日に全国で緊急事態宣言が解除され、経済活動は徐々に再開されつつありますが、第2波の発生も懸念される等、先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、引き続き中期経営計画の主な施策である「シルバービジネスの更なる強化(得意分野への経営資源の集中)」ならびに「インテリア健康事業の収益性の改善」に全力を挙げて取り組んでおります。

当期におきましては、メディカルサービス事業は、主力の福祉用具貸与事業がコロナ禍においてもご利用者の方々やそのご家族の生活を維持するために欠かせない介護サービスとして堅調に推移しましたが、インテリア健康事業は、緊急事態宣言の発出等に伴い、主な販売先である家具販売店への来店客が減少したことなどにより売上が減少した結果、当期の当社グループ全体の売上高は11,150百万円(前年同四半期比9.9%減)となりました。

利益面では、売上原価率の改善や販管費の抑制に努めましたが、売上高の減少により営業利益は377百万円(前年同四半期比6.5%減)、経常利益は529百万円(前年同四半期比37.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は269百万円(前年同四半期比10.1%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① メディカルサービス事業

主力の福祉用具貸与事業においては、従業員の検温等の体調管理、マスクの着用、訪問前後の手指の消毒徹底等、感染防止に最大限配慮しつつ、サービスを提供してまいりました。なお、当期より香川県に本社を置き福祉用具貸与事業などを展開している株式会社翼を連結の範囲に含めております。

2020年1月から、地域限定でレンタルを開始した寝姿勢から立ち上がり姿勢まで4つのポジションに変形し、ご利用者の自立支援や介護者の負担軽減を実現する新商品「離床支援マルチポジションベッド」については、展開地域内でTVコマーシャルなどによる広告宣伝を行い、独創的な動きや利便性を訴求いたしました。

病院・福祉施設等に対しましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により営業活動が十分できない状況が続く中で、主に前期からの受注残案件の納品に終始いたしました。

また、主に関東地区で行っているリネンサプライ事業につきましては、従業員の感染防止に最大限の注意を払いながら、取引先である病院施設等からの要請に対応してまいりました。

以上の結果、メディカルサービス事業の売上高は、7,283百万円(前年同四半期比0.7%増)、営業利益は583百万円(前年同四半期比27.9%増)となりました。

② インテリア健康事業

インテリア健康事業においては、緊急事態宣言発出の影響で、主な取引先である家具販売店への来客数が大幅に減少し、また、展示販売会も中止が相次ぐ中で、当社グループのショールームを1箇所増床(三重県津市)、3箇所新設(東京都港区、静岡県掛川市、長野県塩尻市)、完全予約制とするなど感染予防対策を徹底した上で、お客様の健康維持や睡眠の質の向上に繋がる高付加価値商品をご覧頂く場を拡大するとともに、コロナ禍で巣ごもり需要が増加しているインターネット通販企業への販売推進を強化いたしました。

高付加価値商品の拡販においては、東洋紡株式会社と共同開発した除菌機能糸「アグリーザ®」を使用し、マットレス自体に除菌効果を付与した高衛生マットレス「キュリエスAG™」が、子育て世代の30~40代を中心に好調に推移いたしました。また、6月より、資源や環境配慮の一環から、使わなくなった羽毛ふとんを再利用して新しい商品に作り替える「羽毛ふとんリメイクサービス」を開始いたしました。

国内ホテル需要においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ホテルの客室稼働率が大幅に下落し、新規需要及び更新需要がそれぞれ後退する中で、前期からの受注残案件の納品に終始いたしました。

以上の結果、インテリア健康事業の売上高は3,765百万円(前年同四半期比26.1%減)、営業損失は215百万円(前年同四半期は営業損失61百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(以下「前期末」という。)と比較して57百万円増加し59,855百万円となりました。流動資産は前期末と比較して240百万円増加し32,076百万円となりました。主な要因として、増加については、現金及び預金3,550百万円、たな卸資産149百万円などであり、減少については、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)1,462百万円、有価証券2,200百万円などです。固定資産は前期末と比較して177百万円減少し27,736百万円となりました。主な要因は、有形、無形固定資産の取得及び償却などによるものであります。

(負債)

負債は、前期末と比較して408百万円増加し22,725百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金(電子記録債務を含む)などの減少に対し、未払費用などの増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前期末と比較して350百万円減少し37,130百万円となりました。主な要因として、増加については、親会社株主に帰属する四半期純利益269百万円などであり、減少については、剰余金の配当542百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前期末の62.6%から62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について、合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、緊急事態宣言解除を受け、経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年7月31日)公表いたしました「2021年3月期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,737	11,287
受取手形及び売掛金	8,822	7,241
電子記録債権	788	907
有価証券	3,499	1,299
商品及び製品	5,764	5,822
仕掛品	400	429
原材料及び貯蔵品	2,057	2,121
その他	2,771	2,972
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	31,836	32,076
固定資産		
有形固定資産	17,618	17,519
無形固定資産	1,696	1,673
投資その他の資産	8,597	8,543
固定資産合計	27,913	27,736
繰延資産	48	43
資産合計	59,798	59,855
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,828	2,223
電子記録債務	2,140	2,302
短期借入金	2,700	2,700
1年内償還予定の社債	600	600
未払法人税等	68	71
賞与引当金	1,221	623
その他の引当金	11	3
資産除去債務	17	17
その他	4,777	6,280
流動負債合計	14,365	14,822
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	300	300
引当金	61	66
退職給付に係る負債	510	523
資産除去債務	276	276
その他	3,802	3,737
固定負債合計	7,951	7,903
負債合計	22,317	22,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	0	0
利益剰余金	34,676	34,379
自己株式	△2,507	△2,507
株主資本合計	35,168	34,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49	△9
繰延ヘッジ損益	1	2
退職給付に係る調整累計額	2,360	2,264
その他の包括利益累計額合計	2,312	2,257
純資産合計	37,481	37,130
負債純資産合計	59,798	59,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	12,386	11,150
売上原価	6,179	5,277
売上総利益	6,206	5,873
販売費及び一般管理費	5,803	5,496
営業利益	403	377
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	10	11
雇用調整助成金	—	157
その他	41	24
営業外収益合計	53	194
営業外費用		
支払利息	14	15
持分法による投資損失	0	0
その他	58	24
営業外費用合計	73	41
経常利益	383	529
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	0
臨時休業等による損失	—	102
特別損失合計	5	103
税金等調整前四半期純利益	378	426
法人税、住民税及び事業税	34	20
法人税等調整額	99	136
法人税等合計	133	157
四半期純利益	244	269
親会社株主に帰属する四半期純利益	244	269

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	244	269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	39
繰延ヘッジ損益	△5	1
退職給付に係る調整額	△110	△96
その他の包括利益合計	△147	△54
四半期包括利益	97	214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97	214
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました株式会社翼は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,231	5,095	12,326	60	12,386	—	12,386
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	36	37	1	38	△38	—
計	7,231	5,132	12,364	61	12,425	△38	12,386
セグメント利益又は損失 (△)	455	△61	394	1	395	8	403

当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,283	3,765	11,048	102	11,150	—	11,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	26	27	1	28	△28	—
計	7,284	3,791	11,075	103	11,179	△28	11,150
セグメント利益又は損失 (△)	583	△215	367	1	369	8	377

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	216	212
全社費用※	△207	△204
合計	8	8

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。